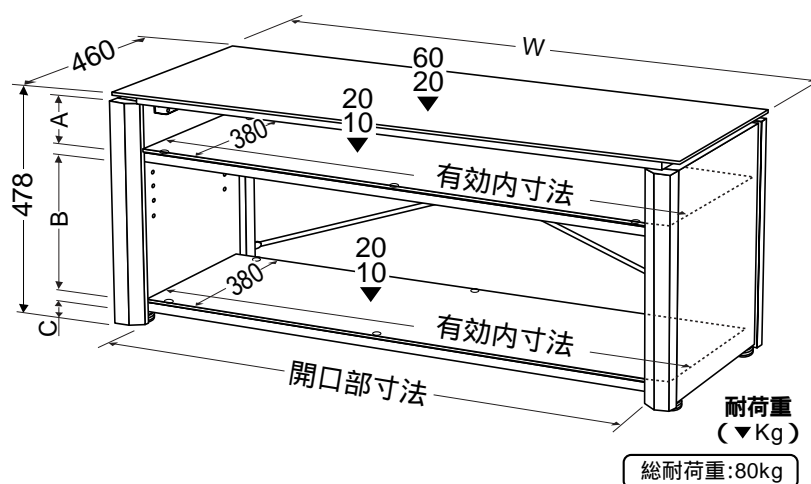


TVスタンド 取扱い及び組立説明書

PDR-WG42・32・26・22

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を組み立てる前に、必ず別紙「安全上のご注意」と下記内容をご覧いただき、
正しく組み立て・ご使用されますようお願い致します。



可変棚の取り付け高さにより、有効高さ寸法が異なります

A	85	115	145	175	205
B	275	245	215	185	155

	W	開口部寸法	有効内寸法
PDR-WG42	1200	1080	1118
PDR-WG32	1000	880	918
PDR-WG26	800	680	718
PDR-WG22	600	480	518

組み立て前にお読み下さい

軍手などで保護してから組み立てて下さい。
組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
組み立て手順に従い、各部品をしっかりと固定して下さい。締め付け・かみ合わせが緩いと危険です。
組み立て時は床などを傷付けないよう、十分にご注意下さい。
定期的にボルトやキャスターの締め直しを行って下さい。緩んだまま使用されますと、転倒・崩壊の可能性があり、非常に危険です。

マーク一覧

注 このマークのある組み立ては、特に気を付けて行って下さい。

付属工具
付属工具を使っての組み立てがあります。

ドライバー
ドライバーを使っての組み立てがあります。

2人組立
2人以上で作業を行って下さい。

左右共通
組み立てに左右共通のパーツを使用します。

左右有り
右用と左用とで部材の形状が異なります。組み立て間違いのないようご注意ください。

総耐荷重
製品に載せる機器等重量の合計が数値を超えないようにして下さい
平均分布耐荷重(図面中の上の数値)
天板・棚板全体に分布するように機器を配置するときの参考にして下さい
中心付近耐荷重(図面の下の数値)
載せる物の重量がこの数値以下なら、どこに設置してもまず問題はありません

商品に関するお問い合わせは **エレコム総合インフォメーションセンター TEL.03-5337-3024** 受付時間 9:00-12:00 13:00-18:00 **年中無休** エレコムFAXテクニカルサポート 受付時間 9:00-12:00 13:00-17:00、月曜日-金曜日(祝・祭日を除く) FAX.03-5500-2881

部品一覧

組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認下さい。

左パネル 1枚

右パネル 1枚

ガラス天板 1枚

ガラス棚板 2枚

上フレーム 1本

下段棚フレーム 1本

可変棚フレーム 1本

クロスバー 1本

受けゴム 21個 (内3個は予備です)

ボルト(M6×15) 16本

棚ボルト 4本

六角レンチ 1本

裏面がガラガラした仕上げになっています

裏面がガラガラした仕上げになっています

穴の開いている側が上面です

穴の開いている側が上面です

穴の開いている側が上面です

傷防止パットは組み立て完成後に外して下さい

組立説明

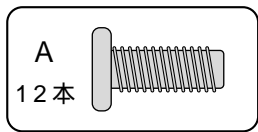
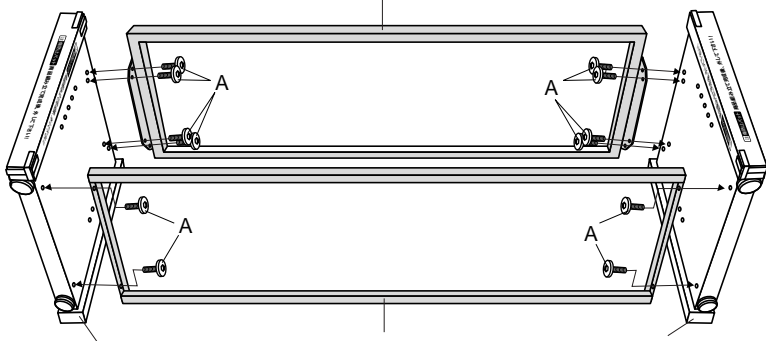
本製品はロックダウン式家具です。必ず組み立て手順、組み立て上の注意事項等の指示に従って組み立てを行って下さい。
床やラック本体を傷付けないよう、段ボールや防傷シートを敷くなどして組み立てて下さい。

ご用意いただくもの



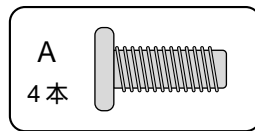
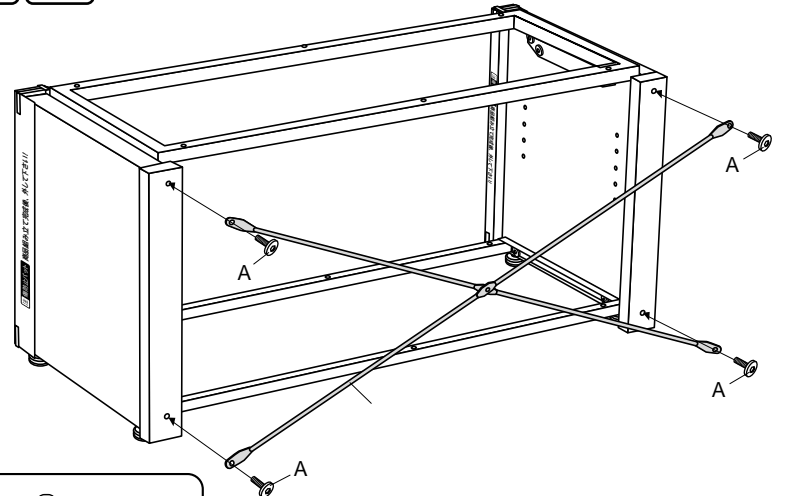
1

- 右パネル、左パネルを図のように床に置き、上フレーム・下棚フレームを上下を確認してボルトAでゆるめに取り付けます。
- ゆるく締めておいたボルトを全て締め付けます。



2

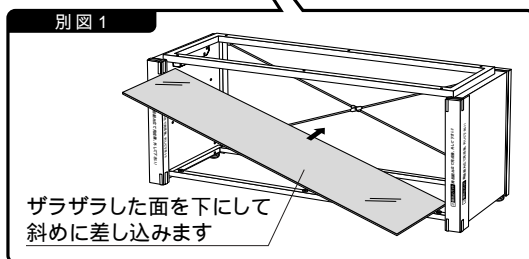
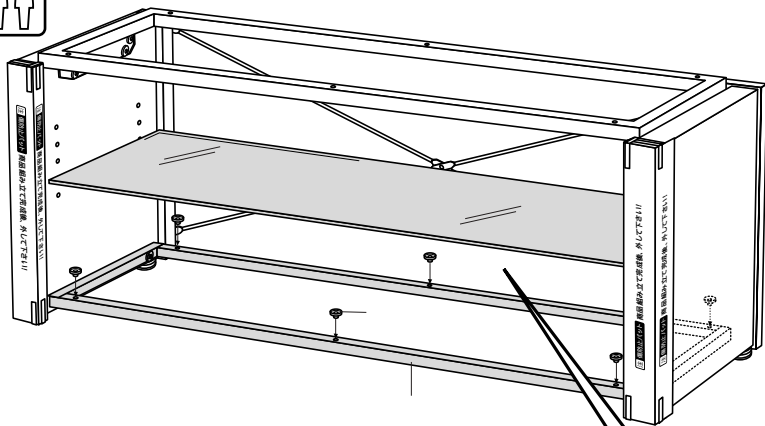
- 本体を図のようにおこします。
- クロスバーをボルトAで取り付けます。



3

注 ガラスは重くて危険です。必ず2人以上で行って下さい。

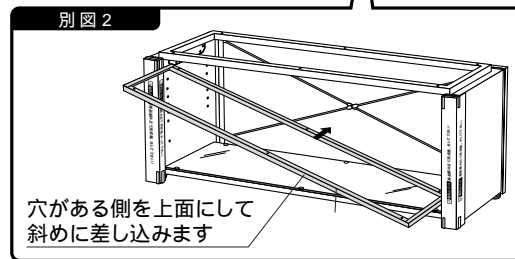
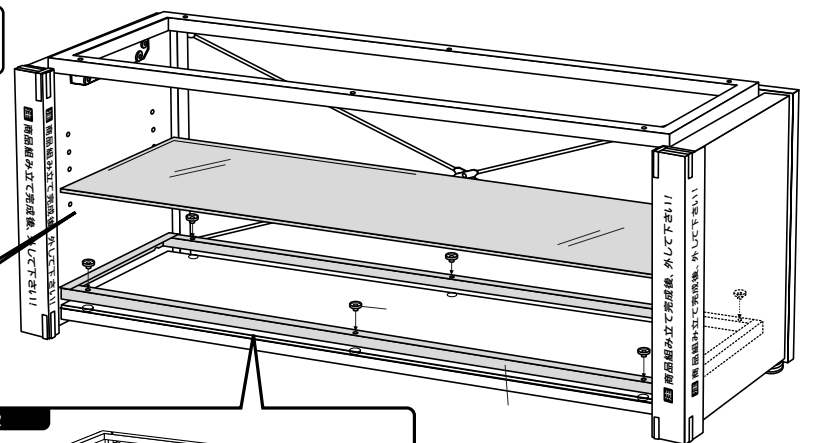
- 受けゴムを図のように差し込みます。
- ガラス棚板を斜めにして中に差し込み、下棚フレームの上に置きます。(別図1参照)



4

注 ガラスは重くて危険です。必ず2人以上で行って下さい。

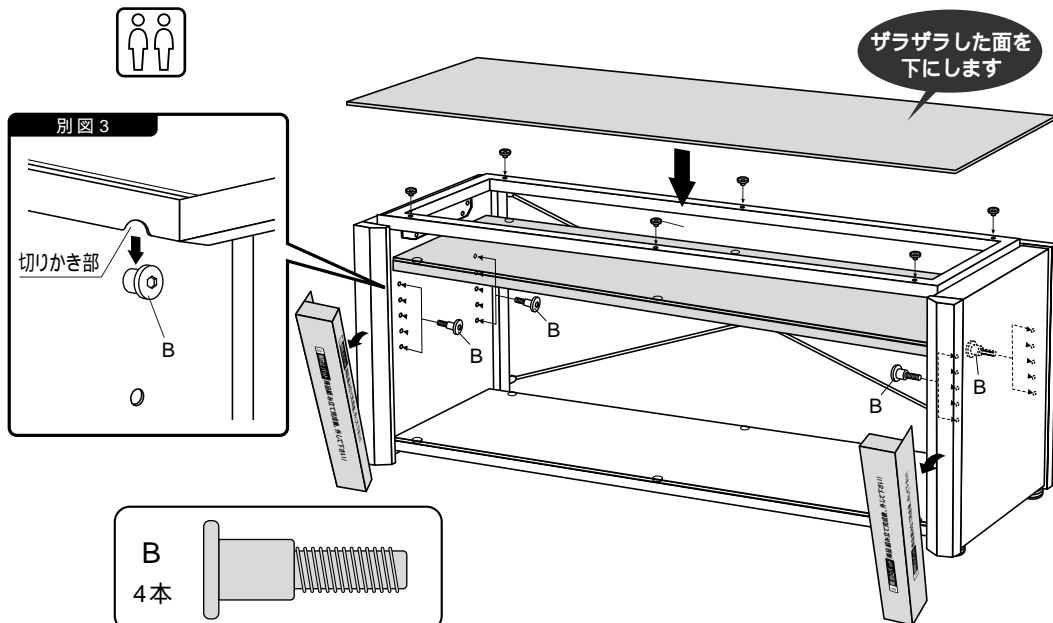
- 可変棚フレームを斜めにして中に差し込み、下段棚ガラスの上に置きます。(別図2参照)
- 受けゴムを図のように差し込みます。
- 行程③と同じようにガラス棚板を斜めにして中に差し込み、可変棚フレームの上に置きます。(別図1参照)



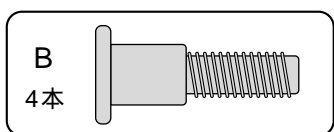
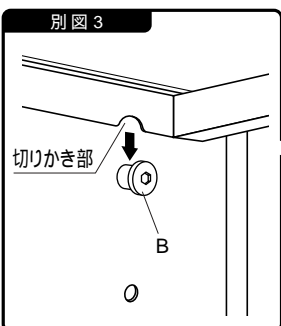
5

注 ガラスは重くて危険です。必ず2人以上で行って下さい。

- 棚ガラス板を載せた可変棚フレームを必ず2人で図のように持ち上げ、棚ボルトBを5段中の同じ高さに取り付けます。
- 可変棚フレームの切りかき部を棚ボルトBにはめ込みます。
- 受けゴムを図のように差し込み、中ガラス天版を中央に置きます。
- 最後に傷防止パッドを外して完成です。



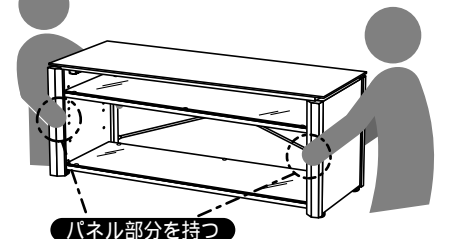
ザラザラした面を下にします



使用上の注意

※可変棚を変化させる場合は、設定された機器などを取り除いてから、行程⑤を参考に必ず2人で行って下さい。

※移動の際は必ず2人で、左右のパネルを持って移動させて下さい。



パネル部分を持つ

※完成時、ガタつきや棚板が水平にならない時は、パネルの先端に取り付けた4つのアジャスターで調節して下さい。

